



平成26年3月31日

お知らせ

同時提供：鳥取県政記者会・倉吉記者クラブ・米子市政記者クラブ

ドライバー等のご協力を得て、雪害対策に取り組みました。
スタックによる通行障害は青谷羽合道路で1回発生(12/28)。
山陰道開通区間(12/21)の通行障害は0(ゼロ)回。
～H25年度の雪害対策の取り組み(まとめ)～

倉吉河川国道事務所が取り組んできた雪害対策について、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

倉吉河川国道事務所管内では、雪害訓練や冬用タイヤ・タイヤチェーン装着の啓発、立ち往生車両の防止対策等の雪害対策に取り組みました。

青谷羽合道路で、スタックの発生により全面通行止めを行い集中除雪を実施しました。山陰道開通区間では通行障害は発生しませんでした。

今回の結果を踏まえ、道路利用者の冬用タイヤの早期装着などご協力を得て、来シーズンに向け、引き続き対策の充実、徹底を図ります。

【要旨】

◆平成22年度の雪害を踏まえ取り組んでいる立ち往生防止の主な対策

①冬用タイヤ・タイヤチェーン装着の啓発活動

「雪みち安全マップ」を作成し中国、近畿、四国、九州の各トラック協会等へ配布、街頭配布

チェーン装着方法の指導、冬用タイヤ装着調査 ⇒ 12月末は冬用タイヤ装着率は約91%

②雪害訓練の実施

開通区間を想定した情報伝達訓練・通行止め措置の机上訓練 ⇒ 関係機関・警察との連携強化

◆平成25年度の新たな取り組み

①CCTVカメラの増設 ⇒ 16台増設により監視区間が5%向上(開通区間は10台)

②除雪機械の更新 ⇒ 3台の除雪機械の更新

③立ち往生車両の対策 ⇒ 標識の設置による注意喚起

◆スタック車両の発生箇所等

①スタック車両は確認できたものは2台(ノーマルタイヤ)(湯梨浜町宇谷、米子市久米町)

※スタック: 雪などにはまって、自動車が立ち往生すること

◆雪害対策の検証結果

平成25年度は、12/28青谷羽合道路で、スタックによる全面通行止めが1回発生

山陰道の開通区間(赤碕中山～名和IC間)(12/21開通)は、通行障害は0(ゼロ)回。

◆今後の検討

引き続き「豪雪時の対応五箇条」により、雪害対策の取り組みの充実、徹底を図ります。

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

倉吉河川国道事務所

TEL (0858) 26-6221 (代表)

副所長(道路)

安野 聡 (やすの さとし)

【担当】道路管理課長

松元 洋之 (まつもと ひろゆき)

倉吉河川国道事務所ホームページアドレス<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi>

H25年度冬の雪害対策の取り組み（まとめ）

1. 平成25年度の気象状況及び体制

- ①平成25年度の降雪量は、湯梨浜町泊では、平成18年度に続く少ない降雪となりました。・・・ p2
なお、米子では、H13年度に続く少ない降雪となりました。
気象は、大雪注意報10回、(大雪警報2回)と多く、10回体制(約204時間)をとりました。

2. 平成25年度の雪害対策の取り組み ・・・ p3,4

- ①除雪は6日、凍結防止剤散布は38日実施しました。(3/28現在)
②平成22年度の雪害を踏まえ取り組んでいる立ち往生防止の主な取り組み
1)冬用タイヤ・タイヤチェーンの装着の啓発活動等
「雪みち安全マップ」の中国、近畿、四国、九州の各トラック協会等への配布
年末の「大雪に関する異常天候早期警戒情報情報」の発表の周知・チラシ配布・・・ p5
タイヤチェーン装着方法の指導、冬用タイヤ装着調査⇒12/27には冬用タイヤ装着率(51%→91%)の向上
2)雪害訓練の実施 →開通区間を想定して、情報伝達訓練や通行止め措置などの机上訓練を実施・・・ p6
③平成25年度の主な取り組み
1)CCTVカメラの増設 ⇒16台の増設により監視区間が約5%向上(69%)(開通区間は10台設置)
2)立ち往生車両の対策 ⇒標識による注意喚起(1枚) ⇒登坂でのスタック車両の発生なし・・・ p3
3)除雪機械の更新 ⇒除雪機械3台を更新

3. 雪害(通行障害)の箇所

- ①スタック(雪などにはまって、自動車が立ち往生すること)車両の発生
1)青谷羽合道路でスタックの発生により、全面通行止めを実施(12/28)し、集中除雪を行いました。・・・ p7
2)スタック車両は、2台(湯梨浜町宇谷、米子市久米町)でいずれもノーマルタイヤでした。
3)山陰道の開通区間では、通行障害は発生しませんでした。

4. 検証及び今後の課題

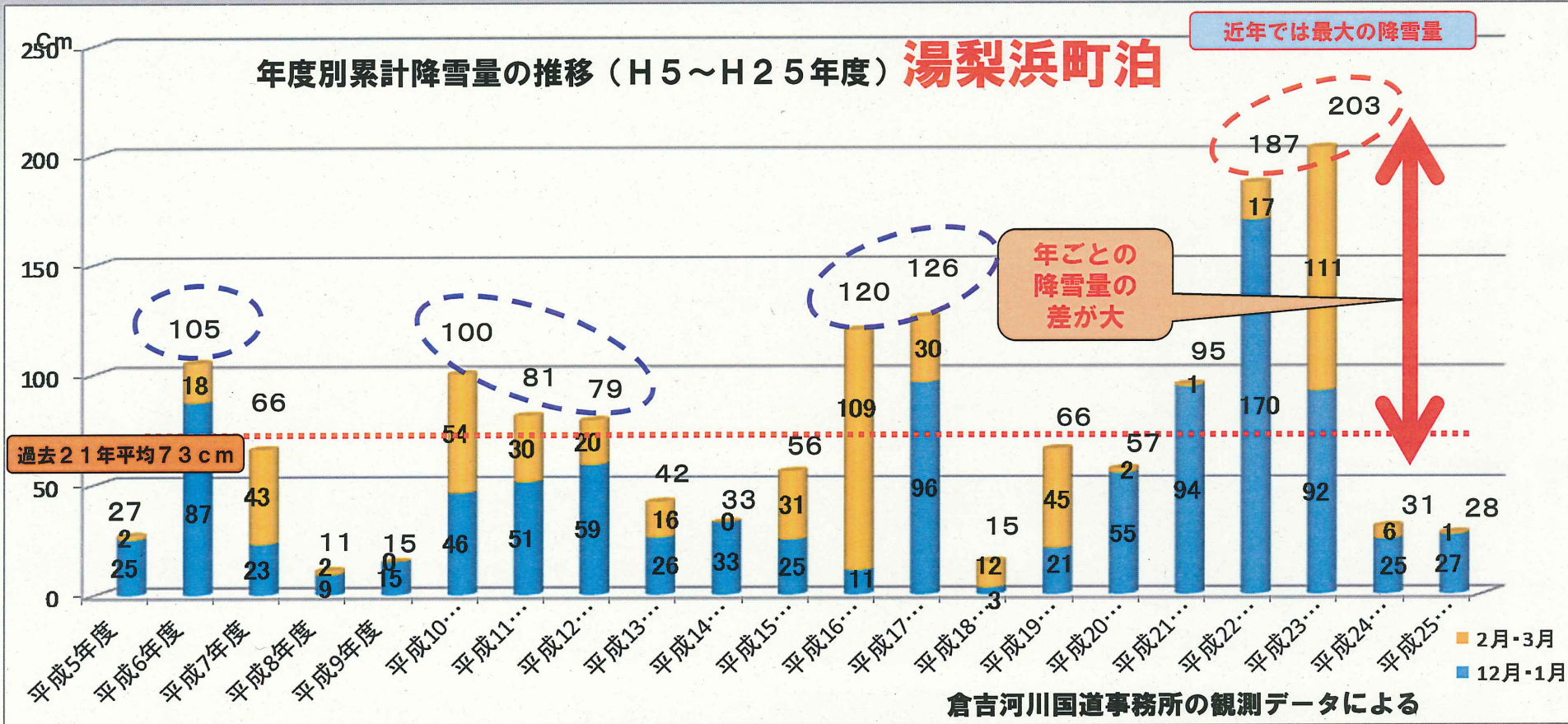
平成25年度は、平成22年度の雪害を教訓として、雪害対策を強化して取り組みました。
CCTVカメラの増設、スタック発生箇所の対策、冬用タイヤ・チェーン装着の向上や、雪害訓練の強化などに
取り組み、スタック等による通行障害は1回発生しましたが、開通区間では発生しませんでした。
山陰道の開通により、さらに冬季の円滑で安全な交通を確保することができました。

今後は、引き続き平成22年度の雪害を教訓を忘れることなく、道路利用者の冬用タイヤ装着などのご協力を
得て「豪雪時の対応五箇条」により、引き続き来シーズンに向け対策の充実、徹底を図る予定です。

H25年度の管内の降雪量（湯梨浜町泊地内）

■管内の降雪状況
観測地：湯梨浜町

平成25年度は累計降雪量は、地区別で5番目に少ない28cm(湯梨浜町泊)を記録(過去21年平均73cm)



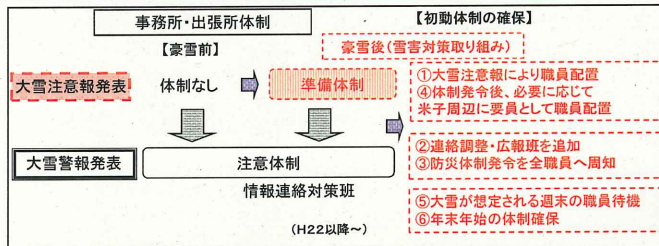
- 降る年と降らない年の降雪量の差が大きい
- 平成23年度は平成22年を超え近年では最大の降雪量
- 平成22年度は1月末までが多い
- 平成23年度と平成24年度は21年間で最大の降雪差

平成26年3月20日現在
降雪量 28cm
(降雪は12月までが、ほとんど
平成24年度よりも少ない)

4. 平成25年度の雪害対策の取り組み (豪雪時の対応五箇条)

1. 初動体制の確保

人員の確保、迅速な参集・体制



3. 迅速な情報収集

あらゆる方法による情報収集

道路に関する情報を
お知らせください!!

お知らせください!!

道路情報
国土交通省 倉吉河川国道事務所
TEL:0858-26-6221
FAX:0858-26-6299

CCTVカメラの増設
(米子市陰田町法面 305K040上り)

コンビニ等への情報提供のお願いのチラシ (H22以降～)

4. 迅速な情報提供

リアルタイムな情報発信

国道9号の緊急情報

時 分 配 布

国道9号(k) (k)

〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分迄

交通事故
車両立ち往生
除雪作業
のため

全面通行止め

詳細情報は、こちらをご利用ください

通行止めと同時に滞留車両に配布、緊急情報の提供

FAX送信表

国道9号に関する情報をお知らせします。

「お問い合わせ」

一段落(トランク2枚)が立上りしているため、国道9号の一時通行止めを行います。1時00分から一時通行止めを行い、除雪作業を行います。

なお、送付先としては出張所をご利用下さい。

中国河川国道事務所 (電子メール) 電話 本庁10-1111 本庁10-1111 10時～ 通行止め 除雪作業のため、チェーンの装着などの対応をお願いいたします。

H23. 1の事例(H25実績1回)

H25実施(H24継続)

1. 大雪注意報→防災体制→準備体制10回(体制約204時間)
大雪警報(12/20,12/28)→注意体制 2回
2. 早めの体制→米子方面→西部分室での待機
事務所 → 広報班の待機
3. 大雪が想定される週末の職員待機、年末年始の体制確保

H25実施(H24継続)

1. CCTVカメラ(115台)による情報収集(16台増設)開通区間含む
2. コンビニ・スーパー等(33店舗)からの情報収集
3. ツイッター(「トリッター」)、トリピーメールからの情報収集

H25実施(H24継続)

1. 道路情報板による表示
2. コンビニ・スーパー・マスコミ・道の駅等(62店舗等)へのFAX
3. 緊急道路情報のFAX→トリピーメール(鳥取県)で情報提供
4. 事務所HPモバイル(緊急情報)による提供

2. 関係機関との連携

自治体・警察等との連携・情報共有



H25実施(H24継続)

1. 警察等との情報連絡調整会議(警察、高速隊)
2. 関係機関とのホットラインの確認(県、市町村、警察)
3. 供用予定区間の合同点検(警察、消防) (H25.12)
4. 建設業協会と雪害協定締結(建設業協会)
5. 冬用タイヤ装着・指導の連携(警察)

5. 危機管理意識の徹底

日頃からの危機管理意識の徹底、集中除雪体制の確保、啓発活動



H25実施(H24継続)

1. 雪害訓練の実施(開通区間を想定)(11月20日)
2. 自動車すべり止め装置の徹底の広域的な文書啓発・移動支援車文書注意
3. 冬用タイヤ・チェーン装着の啓発(雪みちマップ配布、冬用タイヤ装着調査・結果公表)、装着・指導の啓発(タイヤチェーン装着方法)、トイレ等への情報提供(QRコード)
4. 立ち往生車両の防止対策(立ち往生注意標識の設置(1基追加)、すべり止め材等の設置)



雪みちマップ(お出かけ前の情報、冬用タイヤ装着の必要性、冬道運転の注意、救助方法等)の作成

近畿・九州・四国・中国のトラック協会、高圧ガス保安協会、石油商業組合など広域に配布

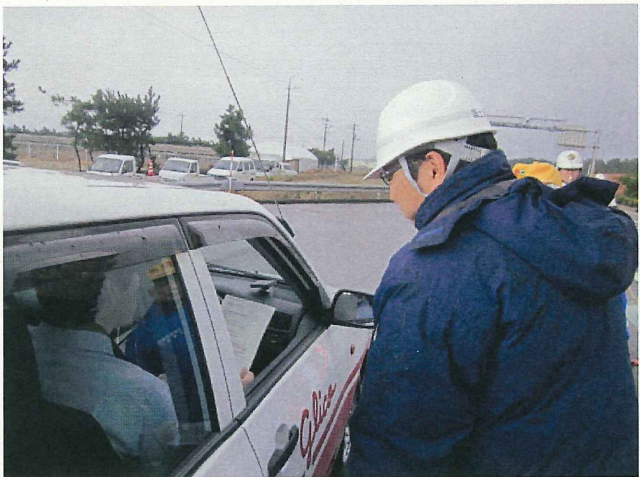
具体的な雪害対策の取り組み（H24とH25の取り組み）

課題(H22～)	項目	取り組み状況(H24)【 】H25なし	H25の新たな取り組み
I 通行状況の迅速かつ的確な把握	CCTVカメラによる情報収集	◆ <u>CCTVカメラの増設(9基)</u>	◆ CCTVカメラの増設(16基) (山陰道開通区間10基含む)
	職員による情報収集	◆コンビニ、スーパー等との情報収集	
	住民・道路利用者からの情報収集	◆ツイッター、トリッターの活用	
	保守業者からの情報収集	◆除雪車へのGPS携帯搭載	
II 通行止め措置等のあり方	通行止めの区間、時期	◆通行止めシミュレーションの作成、【 現地確認 】 関係機関等との連携	◆ 供用予定箇所を含めた通行止めシミュレーションの作成・修正
	警察との連携	◆ホットライン(国・県・町・警察)の構築	◆ 現地支援班説明会の実施
III 関係機関との連携のあり方	県・関係自治体との連絡・連携	◆リエゾンの派遣、ホットラインの構築	◆ 雪害訓練の実施(開通予定区間での通行止め措置の机上訓練)
	警察との連携	【◆ 県道除雪作業の確認書 】 ◆雪害訓練の実施 (通行止め措置の模擬訓練)	◆ 開通区間の合同点検の実施(警察・消防)
IV 道路利用者に対する情報提供のあり方	記者発表による情報提供	◆マスコミへの適切な情報提供 ◆コンビニ、スーパー、 道の駅等 への情報発信 ◆滞留車両への情報提供(携帯サイトの緊急情報) ◆トリッターの活用、トリピーメールの活用 ◆トイレ等への情報提供(QRコード付)	
V 緊急時における必要な体制の確保等	初動体制	◆休日の職員所在の登録 年末年始は近傍への帰省職員も含め登録 ◆初動体制の確保(準備体制) ◆建設業協会との雪害協定締結	
	除雪体制	◆ <u>除雪機械の増強(2台)</u> ◆集中除雪の確保 ◆GPS携帯搭載による位置確認 ◆迅速な作業開始、人員の確保(雪害協定)	◆ 除雪機械の強化(3台更新) ◆ 雪害対策検討会(サガレサガレ作戦、役割分担見える化表作成)
VI その他	スタック防止 運搬排雪 通学路等の早期歩道除雪 冬用タイヤ装着の向上	◆滑り止め装置装着の啓発、スタック車両への通知、冬用タイヤ装着チラシ・雪みち安全マップ配布等 ◆ 冬用タイヤ装着・指導、【勉強会】、装着調査 ◆ 立ち往生の注意標識、【携帯型情報板(試行)】	◆ 冬用タイヤ装着・確認 (回数増加 24年1回→25年2回) ◆ 立ち往生の注意標識(1基追加) 4

【立ち往生車両対策】

- ①冬用タイヤ装着の啓発(雪みち安全マップの配布と合わせて、初めて発表された年末年始の「低温と大雪に関する異常天候早期警戒情報」を周知)
- ②冬用タイヤ装着調査 → ドライバーは非常に協力的な対応

12/27『冬用タイヤ装着』の装着率は91% (前回12/11は約52%、39%改善)



早めに冬用タイヤ(タイヤチェーン)を装着しましょう!!

冬の道路も、一本のミスで大きな危険があります。悪天や急な降雪を想定して、危険物の通行止めなどの原因にならないよう、最悪作戦の検討が必要です。

冬用タイヤ装着率の推移

調査	装着率
前回(12/11)	約52%
今回(12/27)	91%

雪道走行不能による立ち往生車両内訳

原因	割合
冬用タイヤ未装着	65%
タイヤチェーン未装着	34%

高寒地域の緊急情報

高寒地域の緊急情報: 北海道・東北地方の大雪による交通障害の発生状況です。

主要道路のライブ監視情報

主要道路のライブ監視情報: 主要道路の大雪による交通障害の発生状況です。

初めての「低温と大雪に関する異常天候早期警戒情報」を周知

冬用タイヤ装着の調査

雪みち安全マップの配布 5

雪害訓練（H25年度の状況）

倉吉河川国道事務所では、**H22雪害の教訓を活かし**、H24までの雪害対策の取り組みを踏まえ、山陰道の開通前に今冬の万全を期すため雪害訓練を実施。

山陰道の開通予定区間において、実情に即した事象を想定して、「**初動体制の確保**」、迅速な情報収集・提供による「**情報共有**」や現場対応の「**通行止め処置**」、「**集中除雪**」等の迅速な対応を行うことを目的に「**情報伝達訓練**」、机上による「**通行止め措置**」「**集中除雪**」の訓練を行った。

1. 訓練の概要

- 訓練日時：**平成25年11月20日（水） 9:00～16:00**
- 訓練場所：**倉吉河川国道事務所 災害対策室（職員40名）**
（関係機関含めて約55名）

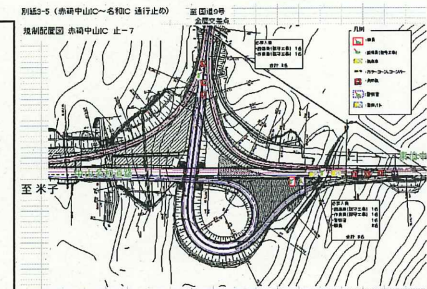
- 訓練内容：①情報伝達訓練
 - ・初動体制の確保
 - ・迅速な情報伝達
 - ・ホットライン
 - ・道の駅での情報提供
 - ・国道沿線からの情報（コンビニ等から収集・提供）
 - ・情報提供（記者発表など）

- ②机上訓練
 - ・通行止め措置
 - ・集中除雪の体制
 - ・除雪機械の移動（GPS）

- 参加機関：倉吉河川国道事務所、鳥取県、大山町、鳥取県警察本部、高速道路交通警察隊、八橋警察署、西部広域消防本部、鳥取県中部・西部建設業協会、JAF、保守工事業者、ポプラ西伯豊成店

2. 訓練の想定事象

- 9:30 支部・注意体制（9:00準備体制から移行）
- 9:50 支部・警戒体制
- 10:15 支部・非常体制
- 10:30～ **通行止め①（交通途絶①、集中除雪①）**
- 13:05 **通行止め解除①**
- 14:15～ **通行止め②（交通途絶②、集中除雪②）**
- 16:00 **通行止め解除②**
- 16:00 支部・注意体制に移行（訓練終了）



規制图（赤碓中山IC）



状況説明



情報伝達（関係機関との情報共有）



現地支援班の出発（初動体制）

想定事象（通行止め措置、集中除雪）

現道L = 68.4km



グレーダの実走



GPS携帯搭載によるグレーダの位置確認

年末寒波(12/28)でのスタック車に伴う渋滞解消作戦

速やかな滞留車両の移動(サガレサガレ作戦と除グレ先導除雪(排除)作戦)

山陰道(青谷羽合道路)湯梨浜町宇谷(下り線)、のぼり勾配3%で発生、滞留区間は約1.7km

凍結防止剤散布中に急な降雪により発生、スタック車両は大型車1台で、チェーン装着後に自走で移動

12/28(土) 15:10頃スタック車両発生連絡~16:55滞留車両全て移動、サガレサガレ作戦及び、除グレ排除作戦(バック走行)で移動完了

17:00~19:10 集中除雪 (青谷IC~はわいIC間を全面通行止め、国道9号を迂回路)

